

実施日	視察先	視 察 項 目	備考
5月11日	愛知県 豊田市	・重層的支援体制整備事業について ・認知症施策について	
5月12日	静岡県 静岡市	静岡市認知症ケア推進センター 「かけこまち七間町」について	

視察先	項 目	調査内容
豊田市	重層的支援体制整備事業について 認知症施策について	<p>豊田市において、重層的支援体制整備事業における事業の考え方と概要を、認知症施策についての概要と今後の課題について調査を行った。</p> <p>重層的支援体制整備事業について、豊田市では、重層的支援の「重層的」を3つの考え方として挙げており、対象者自身や世帯の困り事が多々ある「対象者の重層」、相談から支援の実施まで「支援手段の重層」、支援機関の重なりによって支援する「支援機関の重層」として認識している。それぞれ、「対象者の重層」には、複合・複雑化した困り事を抱えていることが制度の前提としてあるため、対象者の状態を多角的に捉える必要が、また「支援手段の重層」には、相談、必要に応じたアウトリーチ、支援機関との協議を経て支援を実施するといった一連の流れにより支援を行う認識を持つ必要が、最後に「支援機関の重層」には、対象者自身が複雑な困り事を抱えていることから、様々な支援機関が協力し合う連携体制のもとに支援を行う必要がある。</p> <p>令和3年度から「重層的支援体制整備事</p>

		<p>業」を実施した。具体的には、自分の所属ではない相談内容であっても、適切に聞き取り、対応できる支援機関につなぐ「包括的相談支援事業」、同意のない対象者に対し、支援が行き届くように支援会議を経て情報収集や自宅訪問等を行い、支援同意を得る「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を皮切りに、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を整理する役割を担う、本事業の中核である「他機関協働事業」を実施する。その他、既存事業では対応できないニーズがある場合、本人のニーズと地域資源との調整を行い、多様な社会参加を促進する「参加支援事業」を、人と人、人と居場所をつなぐため、世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場を整備する「地域づくり事業」を展開しているとのことであった。</p> <p>認知症施策について、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指す姿を目標とし施策を計画している。本人の症状を「自覚なし」、「気づき・疑い」、「受診・診断」、「重度化・サービス利用等」と位置づけ、それぞれの段階に応じて基本の施策を設けている。自覚なしから気づき・疑いにかかるまで、「認知症の早期発見」として、介護や健康への意識が高まるタイミングに多チャンネルから早期発見の機会を提供する。また認知機能チェックを配布することで専門機関等へつなぐ。受診・診断後は、一人で抱え込まず、社会に出て輝き続</p>
--	--	---

		<p>け，認知症進行を抑制するため，「精神面のケア」，「社会参加支援」に取り組む。本人の症状がどのような場合でも，本人や家族のニーズと，認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを運用させ，また，ボランティアポイント等を活用させ，「支援をつなぐ仕組み」として基本方針を位置づけている。</p> <p>今後の展開として，「ともに楽しみともに生きる」を新たな視点に追加し，健康な状態の方に対しては生活習慣病の予防の必要性と認知症との関連性について情報発信を行い，認知症と診断を受けた方に対しては認知症の人の出会う場，活躍の場を提供しながら，本人と家族の一体的支援と家族支援を充実させること等を計画している。</p>
静岡市	静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」について	<p>静岡市において，静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」における施設の概要について調査を行った。</p> <p>静岡市は現在，高齢者の8人に1人が認知症と診断され，2030年には5人に1人になると推計されている。市では5大重点政策のうちの一つ「子どもの育ちと長寿を支えるまち」を掲げており，その中で「健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」を策定しており，本事業はその中の「認知症総合支援プロジェクト」に位置づいている。</p> <p>令和2年10月31日にオープンした「かけこまち七間町」は，認知症の人やその家族の支援を行うとともに，全世代を対象として広く認知症予防や認知症の理解促</p>

		<p>進に係る事業を展開する活動拠点として中心市街地に設置された。施設は主に、個別相談支援と関係機関との連携、研究開発と人材育成、普及啓発と理解促進の3つの機能を有しており、市内30か所ある地域包括支援センターとは異なる方向から市内全域の方々を対象に支援している。例えば、認知症に係る専門的な相談支援に加え、本人と家族支援団体との繋ぎ役や民間企業との連携、認知症予防のための普及啓発活動等を担っている。</p> <p>現状、施設の認知度や利用者数の伸び悩みや、施設のブランディングが確立されていないことによる利用者の困惑が見られることから、今後の取組として、専門性の向上を図るために施設機能を拡充することで、関係機関から一目置かれる存在を目指すことを目標としているとのことであった。</p>
--	--	---